

別紙6_質問票

(記入の際は、適宜行の幅を広げたり追加したりして御記入ください。)

項番	設問	回答
1	(別紙2) 内部情報系システム共同調達等業務仕様書 (RFI用案) .pdf 2ページ 3 業務概要 (2)業務の内容 「運用・保守は令和16年度末までを前提とする」とありますが、各自治体様と調整可能でしょうか。 懸念事項として、WindowsServer2025のOSサポート期限は、2034年(令和16年)11月14日までとなっております。そのため、2027年度(令和9年度)導入自治体様は、令和16年度末より早く更新時期を迎えてしまうこととなります。	・契約は各市町と個別に行っていただきますので、運用保守の期間について、各市町と調整可能です。
2	(別紙3) 機能要求表 (RFI用) 文書管理システムNo:74 決裁の通信のログ等を保持し、確認が可能なこと。 本項目について、想定されている要件の前提条件を確認させてください。 本要件は、文書管理システムと財務会計システムおよび庶務事務システムが、それぞれ異なる基盤上に構築され、システム間連携を行う構成を前提としたものと理解してよろしいでしょうか。 仮に、これらのシステムが同一基盤上で構築される場合には、決裁に係るシステム間通信が発生しないため、通信ログの出力・保持は必須要件ではないとの認識で問題ないか、併せてご教示ください。	・「文書管理システムと財務会計システムおよび庶務事務システムが、それぞれ異なる基盤上に構築され、システム間連携を行う構成を前提としたものと理解して」いただいて問題ございません。 ・通信ログの出力・保持は必須要件ではないが、決裁等の操作ログに関する出力・保持は必須です。
3	内部情報系システム共同調達等業務仕様書 (R F I ・案) 3ページ 3 業務概要 (2) 業務の内容 Ⅰ システム開発の実施 詳細設計に基づき内部情報系システムを開発又は設定し、単体テスト及び結合テストを実施すること。 本システムはパッケージ製品の導入を前提としておりますが、その場合、詳細な単体テストおよび結合テストを個別に実施するのではなく、総合テストにおいて当該テスト工程を包含する形で実施する方針としても差し支えないとの理解でよろしいでしょうか。	・差し支えございません。
4	内部情報系システム共同調達等業務仕様書 (R F I ・案) 3ページ 3 業務概要 (3) 業務の成果物 ②基本設計書一式 ③詳細設計書一式 本システムはパッケージ製品の導入を前提としておりますが、その場合、基本設計書および詳細設計書については、開発元より提供される概要設計書やコード設計書等の既存ドキュメントをもって代替することでも差し支えないとの理解でよろしいでしょうか。	・差し支えございません。

別紙6_質問票

(記入の際は、適宜行の幅を広げたり追加したりして御記入ください。)

項番	設問	回答
5	内部情報系システム共同調達等業務仕様書（ＲＦＩ・案） 8ページ 8 開発・運用要件に係る説明 (3) 平常時の運用・保守要件 ウ 日次及び月次のバックアップ管理を行う設備を設けること。 本要件について、バックアップ方式の前提条件を確認させてください。 日次および月次のバックアップ管理に関して、想定されているバックアップの世代数（保持期間・保持世代数）についてご教示いただけますでしょうか。 また、「月次のバックアップ管理」とは、フルバックアップの長期保管等を指すものか、具体的な運用イメージについても併せてご教示ください。 さらに、例えば日次バックアップにおいて複数世代（例：フルバックアップ1世代＋増分バックアップ複数世代）による管理を実施する場合、これにより月次バックアップの要件を包含する構成とすることは可能かについてもご教示ください。	・障害・誤削除等の発生時に、当該発生直前のデータに復旧させたいというバックアップ運用をイメージしています。 （具体的なイメージ：2026/7/31に誤削除発生、（2026/7/31月次バックアップ取得、）削除操作が2026/8/1に発覚、2026/6/30の月次バックアップ及び日次バックアップを用いて2026/7/30の日次バックアップまでロールバックし、2026/7/31誤削除までトランザクションログを用いてロールフォワードする） この運用を実現するには、バックアップ構成によって必要な方式や世代数が異なると思いますので、構成案及びその構成に基づいた必要な世代数の御提案をお願いします。
6	内部情報系システム共同調達等業務仕様書（ＲＦＩ・案） 8ページ 8 開発・運用要件に係る説明 (3) 平常時の運用・保守要件 オ 操作ログ等のシステム操作履歴の月次取得及び確認を行い、各市町に報告すること。 本要件について確認させてください。 データセンターと各市町との通信において、NAT変換を用いたネットワーク構成とする場合、操作ログとしては操作職員番号等のユーザ識別情報は取得可能であるものの、操作端末を特定するためのIPアドレス情報についてはログとして管理することが困難となる想定です。 このような構成の場合において、操作端末のIPアドレスが取得できないことについても、本要件を満たすものとして問題ないかご教示いただけますでしょうか。	・データセンターと各市町との通信において、NAT変換を用いたネットワーク構成とする場合、操作端末のIPアドレスが取得できないが、操作職員番号等のユーザ識別情報について取得可能であることで本要件を満たします。
7	内部情報系システム共同調達等業務仕様書（ＲＦＩ・案） 9ページ 9 その他要件に係る説明 (3) 性能要件 エ 前3項に関わらずSLAには次の基準を含むものとする。 ②1000件の一括情報照会要求を1分以内に処理できること。 本要件について確認させてください。 一括情報照会の処理時間は、対象となるデータ件数やデータ内容（項目数・データサイズ・結合条件等）に大きく依存するため、すべての条件下において一律に当該基準を満たすことが難しい場合があると想定しております。 つきましては、本SLA基準については、対象業務やデータ特性、処理条件等を踏まえたうえで協議・調整させていただくことは可能か、ご教示いただけますでしょうか。	・SLA基準について、対象業務やデータ特性、処理条件等を踏まえた上で協議、調整は可能です。
8	内部情報系システム共同調達等業務仕様書（ＲＦＩ・案） 9ページ 9 その他要件に係る説明 (3) 性能要件 エ 前3項に関わらずSLAには次の基準を含むものとする。 ①各操作の処理を5秒以内に処理できること。 オンライン処理における一部の情報照会やバッチ処理においては、処理内容やデータ量により、処理完了までを一律に「5秒以内」とすることが困難なケースが想定されます。 つきましては、本SLA基準については、処理の特性に応じて適用範囲を見直す、または個別に協議のうえ調整させていただくことは可能か、ご教示いただけますでしょうか。	・SLA基準について、対象業務やデータ特性、処理条件等を踏まえた上で協議、調整は可能です。

別紙6_質問票

(記入の際は、適宜行の幅を広げたり追加したりして御記入ください。)

項番	設問	回答
9	財務会計システムおよび文書管理システムのデータベース容量をご提示いただきありがとうございました。 東広島市様、府中町様におかれましては、当該「既存データ容量」の内訳をより正確に把握するため、以下の点について追加でご教示いただけますでしょうか。 ご提示いただいたデータベース容量には、財務会計システムおよび文書管理システムにおける添付文書ファイル（電子ファイル）の容量が含まれておりますでしょうか。 もし添付文書ファイルの容量がデータベース容量に含まれていない場合には、お手数ですが以下についても併せてご教示ください。 ・2026年6月時点における添付文書ファイルの実容量（概算） ・2027年3月時点における添付文書ファイルの実容量（見込・概算）	・東広島市 添付文書ファイルの容量も含んでおります。 ・府中町 含まれております。
10	クラウドサービスがISMAPサービスリストへ登録されていることが稼働環境要件となっておりますがISMAPはサービス単位のみならず、その機能や構成に応じ対象範囲が厳密に定められているものと認識しております。 共同調達によるシステム更改・導入の最適化を目指す本RFIの目的に鑑みれば、各自治体様個別の利用形態や事情にあわせたカスタマイズ性を一定確保することは必須と考えており「ISMAPと同程度のセキュリティ基準で運用されているサービス」を含む提案にてサービス構成・システム構成の柔軟性をお示しすることは問題ないでしょうか。	・ISMAPと同程度のセキュリティ基準で運用されているサービス」を含む御提案にて問題ございません。